

経営比較分析表（令和4年度決算）

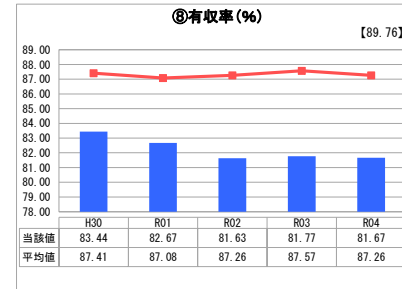
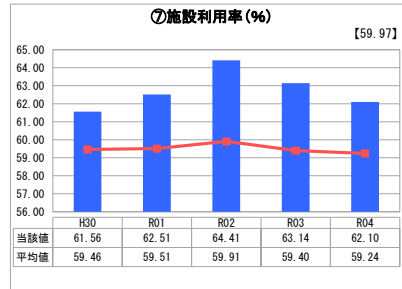
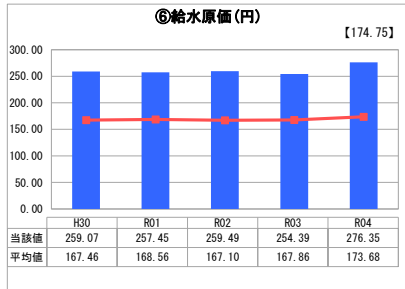
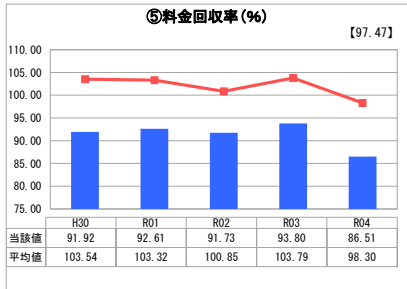
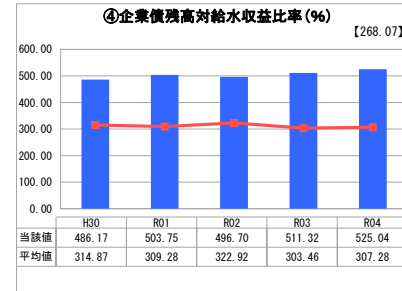
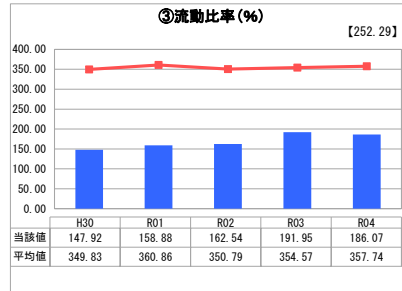
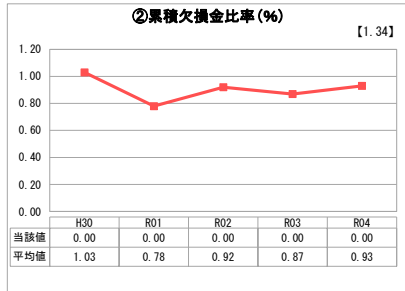
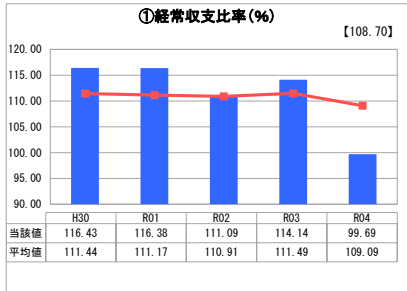
千葉県 香取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	60.69	74.45	4,730	

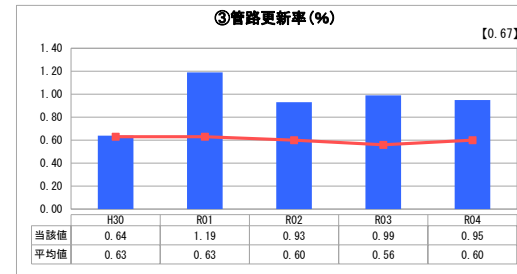
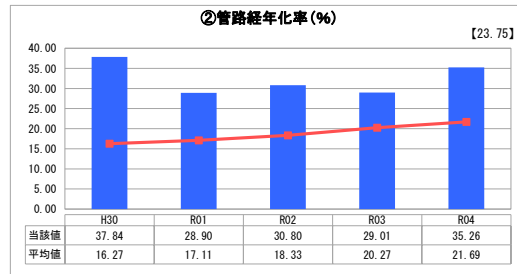
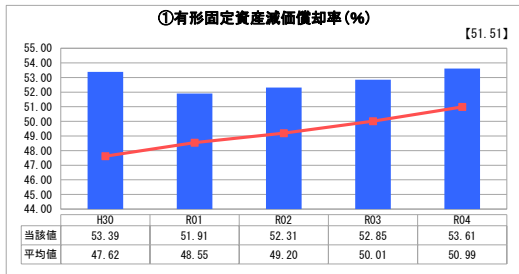
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
71,868	262.35	273.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
53,109	171.19	310.23

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、経常費用の増加を背景に前年度より低下し、また、基準となる100%を下回っています。
 ②累積欠損比率は、累積欠損金が存在しないため該当なしとなっています。
 ③流動比率は、未払金等の増加から前年度より減少したものの、基準となる100%を大きく上回っているため、短期支払能力は問題ありません。
 ④企業債残高対給水収益比率は、施設拡張及び管路更新のため企業債残高が増加したため、類似団体の平均値に比して高い数値となっています。
 ⑤料金回収率は、給水原価の上昇などに前年度より減少しており、依然として100%を下回っているため、給水費用を給水収益以外の収益で賄っている状態が継続しています。
 ⑥給水原価は、経常費用の増加もあり前年度より増加しており、また依然として類似団体の平均値より高い数値となっています。
 ⑦施設利用率は、配水量の減少に伴い、前年度より低下していますが、依然として類似団体の平均値よりは高い水準を保っています。
 ⑧有収率は、有収水量の減少が配水量の減少を上回ったため、前年度数値から減少し、依然として類似団体の平均値を下回っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、昨年度よりも上昇し、類似団体の平均値も上回っているため、類似団体以上に固定資産の更新が迫っており、適正な更新計画立案や裏付けとなる財源確保が必要となります。
 ②管路経年化率は、昨年より上昇しており、依然として類似団体の平均値より高く、管路の老朽化が進行している状態です。
 ③管路更新率は、前年度数値より僅かながら低下しているが、類似団体の平均値を上回っています。しかしながら、安定した水資源の供給を図るため、さらに数値を高める必要があります。

全体総括

1. 経営の健全性・効率性
 流動比率から短期支払能力には問題はないが、収入の減少、費用の増加に伴い経常収支比率は低下している。また、有収率が低水準のため、施設利用率が比較的良好であっても収益の確保にはつながらない現状のため、今後は収益の効率性を高めるため、管路更新等を推し進め、有収率向上を図る必要があります。

2. 老朽化の状況
 管路経年化率が高く、多くの管路が更新時期となっているため、管路の更新を推進し、安定した水道供給を継続する必要があります。